事業評価シート (平成25年度分)

1. 事業の位置付け

事務事業名	大浜地区土地区画整理事業			
事業担当	都市整備部 都市整備課			
事業種類	● ハード ○ ソフト			
W 스킨 프 스	'03 基本目標3 人と自然が調和した、やすらぎのあるまち			
総合計画の 位置付け	'02 ②〈住みごこち〉 人にやさしい居住空間をつくる			
位61717	'03 3 環境に配慮した都市基盤整備を進める			
根拠法令等				
対象•受益者	施行地区住民、市民事業期間			
委託、協働	【委託: 3セク・財団 企業 NPO その他 】【協働:施行地区住民 】			
	目的・目標事業の概要			
	れ、安全で快適な生活環境が確保できるよ 具現化が図られています。 ・ション拠点の創出を目的とし、「住まう人、集う人」の安全 のための減災の視点を考慮したまちづくりを具現化します。			

2. 事業の検証

2. 事業の検証						
	指標名				単位	
活動指標①	説明·算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標					
	実績					
活動指標②	指標名				単位	
	説明·算定式					
/口到]日标心		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標					
	実績					
	指標名	事業計画の進捗率			単位 %	
成果指標①	説明·算定式	土地区画整理事業計画の進捗率。H23まで:78%、H24:新基本構想の策定2%、H25:新基本構想の策定 10%、H26:関係機関協議5%、H27:都市計画・事業認可の手続き5%				
从本1日标①		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標	78	85	90	95	
	実績	78	80	90		
	指標名				単位	
成果指標②	説明·算定式					
从木田宗区		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標					
	実績					
	①: 予定どおり					
進捗状況	遅れている理由					
平成25年度の主な取組と成果						
大浜地区の新基本構想策定に向け、調査検討を行い、関係機関との協議資料を作成しました。						
平成25年度	lacksquare $lacksquare$ $lacksquare$ $lacksquare$					
の検証結果						

	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
事	必要性	■ 市民ニーズ■ 事業目的の達成状況■ 市の関与の必要性□ その他	当該地区は、海辺の既成市街地であり都市基盤が未整備な状況で、あらゆる災害に脆弱な地区となっています。東日本大震災後も居住の継続の意向が強く事業化への期待が非常に高いことから、必要性は高いと思われます。	● 高 〇 低
業		■ 上位施策への貢献■ 市民満足度を高める方策■ 継続による成果向上の可能性□ その他	本事業の実施により、安全で快適な生活環境への改善を図るとともに、本市における産業間連携の発展が大いに期待できます。	● 高 〇 低
分析	妥当性	事業の目的、対象、内容受益者負担、補助額業務の執行体制(人員配置、業務分担)こその他	都市基盤が未整備なまま市街地が形成された地区の環境 改善を図るには、土地区画整理事業の実施が最適であり、 地権者等の負担を含め、妥当性は高いと思われます。	高中低
	効率性	■ 業務プロセス改善による効率化の方策□ コスト削減の可能性■ 事業手法(民活の余地、事業形態の検討)□ その他	当該地区における土地区画整理事業だけでなく、周辺における整備計画と併合することにより、事業効果の向上や民間の事業参画が期待できます。	○●の低

今後に向けた課題の分析

湖南海岸や新港に隣接する地区の特性や圏央道の開通などの広域的な特性を活かし、産業間連携を実現するとともに地区の課題を解決するための事業展開を図る必要があります。

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

<u>0. 千皮州争未附</u> (千位: 111)					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
		決算額	決算額	決算額	予算額
事業内容		事業認可に向けた調整	新基本構想の策定	新基本構想の策定	関係機関協議
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	1,365	1,890	4,725	0
	事業費(A)	1,365	1,890	4,725	0
	執行率(%)	91.00	94.50	94.50	
内	職員(人)	1.15	1.10	1.10	1.20
訳	再任用(人)	0.60	0.00	0.00	0.00
	人件費(B)	11,337	8,817	8,743	9,376
フルコスト(A+B)		12,702	10,707	13,468	9,376

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成27年度の取組方針

都市計画決定及び事業化の手続きを進めるため、国や県、関係機関と協議を行うとともに、地区住民の事業への参画に理解 を深め、調整を進めます。

課長コメント

当該地域は既成市街地でありながら都市基盤整備が遅れているとともに、自然災害を受けやすい地形となっているため、安全で快適な生活環境を確保する必要があります。また湘南海岸に面する立地特性を活かしたまちづくりを進めていきます。